

令和5年度 特別研修（共同）
「自治体DXのためのAI・RPA活用研修」実施要領

1 目的

AI・RPAに関する知識、活用事例等を学び、業務の効率化や住民サービス向上につなげるための活用方法を身に付ける。

2 対象

【県・市町村】AI・RPAについて関心のある職員

3 予定人員

県90人・市町村30人（各回とも県45人・市町村15人）

4 日程

【第1回】 8月17日（木）・8月18日（金） 9:00～16:30

【第2回】 8月28日（月）・8月29日（火） 9:00～16:30

	9:00	9:05		12:00	13:00		16:30
1 目 目	お エン テー ション		講 義 ・ 演 習	休 憩		講 義 ・ 演 習	
	9:00	9:05		12:00	13:00		16:25 16:30
2 目 目			講 義 ・ 演 習	休 憩		講 義 ・ 演 習	講 義 の 振 り 返 り 等

5 手法

Zoomによるオンライン受講

※Zoomの利用環境を用意できない場合、下記担当まで御連絡ください。

6 講師

一般社団法人 行政情報システム研究所 狩野 英司 氏
埼玉県職員、茨城県行方市職員、東京都品川区職員

7 会場

各所属ほか

8 準備品

筆記用具、インターネットに接続できるパソコン等の端末（カメラ・マイク付き）、テキスト等
研修資料、「研修当日の参加方法について」

9 オンライン研修受講の流れ

(1) 事前準備

- ・グループワークがありますので、マイク、カメラ及び発言が可能な受講環境を御準備ください。
- ・研修資料は後日送付いたしますので、各自でお手元に御用意ください。
- ・別添の事前課題については、【第1回】に御参加の方は7月28日（金）までに、【第2回】に御参加の方は8月8日（火）までに、下記担当者のメールアドレス宛てに提出してください。

・【県職員のみ】SRDシステム(リモートデスクトップ)では研修に参加できません。在宅勤務の場合は自宅等の回線から接続する等して、県庁LANの負荷軽減に御協力ください。

(2) 研修当日

- ・後日送付する「研修当日の参加方法について」に記載している日程のURLにより参加してください。マイク・ビデオの設定等の留意事項がありますので、必ず御確認ください。
- ・出席確認のため、Zoomによる受講時は、表示名を「班No.+氏名+所属名」と設定してください。名前の設定は、ミーティング入室後に行います。
- ・班No.入りの名簿は、各回研修日の5日前までにお送りしますので、各自確認してください。

10 受講報告

下記URL(電子申請フォーム)から受講報告を提出してください。

受講報告は研修終了後から3日以内に行ってください。

(インターネット) <https://logoform.jp/form/vqMu/313363>

(LGWAN) <https://tb.logoform.st-japan.asp.lgwan.jp/form/vqMu/313363>

11 その他

- (1) 実施要領、シラバス(研修科目案内)を必ず御確認の上、御参加ください。
- (2) 業務等の都合によりやむを得ず欠席(遅刻・早退)する場合は、欠席(遅刻・早退)届を以下のとおり提出してください。また、欠席(遅刻・早退)することが当日判明した場合は、速やかに当広域連合に連絡してください。
【提出方法】
(県職員)
電子申請フォーム(<https://logoform.jp/form/vqMu/187195>)で御提出ください。
(市町村職員)
研修担当課へ欠席(遅刻・早退)を申し出てください。
- (3) Zoomの機能を用いたグループワークを予定しています。マイク・カメラの御用意及び研修中に発言可能な受講環境の確保に御協力をお願いします。
(市町村職員のみ)
他団体の受講生との意見交換の機会を確保するため、可能な限り、1人1台のパソコンを用意してください。
- (4) Zoomの接続については、「研修当日の参加方法について」を確認してください。
- (5) 研修開始5分前にはミーティングへの入室及び表示名・マイク・ビデオの設定を終え、待機してください。
- (6) 本講義については、録画、撮影(スクリーンショット含む)及び引用、転載等による第三者への共有はしないでください。

担当：人材開発グループ 県職員担当	堀江	【E-mail】	a.horie@hitozukuri.or.jp
市町村職員担当	南	【E-mail】	y.minami@hitozukuri.or.jp
【電話】048-664-6681(県職員担当)	048-664-6684	(市町村職員担当)	
【FAX】048-664-6667(共通)			

特別研修（共同）

研修名	自治体DXのための AI・RPA活用研修	受講者の声		
		AI や RPA とは何かという初歩から説明していただき、言葉を聞いたことがあるという段階でも当事者意識をもって講義を受講できた。また、先行の導入事例や応用方法まで解説していただき、教科書的ではなく現実的な導入の方法をイメージすることができた。		
講師	一般社団法人 行政情報システム研究所 かのう 英司ほか	実施日数・時間	2日間	
		手法	オンライン研修	
		会場	各所属ほか	
		市町村研修コード	415~416	
ねらい	AI・RPAに関する知識、活用事例等を学び、業務の効率化や住民サービス向上につなげるための活用方法を身に付けます。			
対象者	AI・RPAについて関心のある職員			
実施日	① 8/17(木)・8/18(金) ② 8/28(月)・8/29(火)			
予定人員	県90人・市町村30人（各回 県45人・市町村15人）			
学 習 計 画				
日程	カリキュラム	時間数		内 容
		時	分	
1日 9:00 ～ 16:30	DX、AI、RPAの基礎知識 業務改革と業務改善 業務見える化グループワーク AI・RPA動作実演 先行事例紹介・質疑応答① （講師：自治体職員） 関連トピックス	6	30	<ul style="list-style-type: none"> DX、AI、RPAの基礎知識について学ぶ。 RPA導入の前提となる業務改革や業務フローの作成の基礎知識を、実習を通じて学ぶ。 業務フローの特徴や作成方法について学ぶ。 AI、RPAの動作について学ぶ。 RPA導入の担当者から、現場での苦労や課題解決の方法などを学ぶ。 DX推進のための思考や方法を学ぶ。
2日 9:00 ～ 16:30	ビッグデータとAI デザイン思考とAI AIの導入パターンと事例 先行事例紹介・質疑応答② （講師：自治体職員） 埼玉県施策・事例紹介 （講師：埼玉県職員） 人と組織の改革	6	30	<ul style="list-style-type: none"> ビッグデータの基礎知識と活用事例を学ぶ。 デザイン思考の基礎知識と活用事例を学ぶ。 AIの導入事例と導入の際の注意点を学ぶ。 AI導入の担当者から、現場での苦労や課題解決の方法などを学ぶ。 埼玉県及び県内市町村でのAI・RPA活用に向けた施策と事例を学ぶ。 DX人材とDXが推進される組織作りについて学ぶ。
特記事項	・事前課題があります。			